

厚生労働省福島労働局 定例報告会次第

平成28年10月28日(金)10:00～

福島合同庁舎 3階共用会議室

1 「雇用失業情勢（平成28年9月分）」について

2 「福島労働局からのお知らせ」について

【次回開催予定】

平成28年11月29日（火）10時～ 福島合同庁舎 3階共用会議室

厚生労働省福島労働局 定例報告会配布資料

I イベント・行事

1. 「介護就職デイ」を開催

担当：職業対策課 渡部 電話：024-529-5463

～ 11月4日から11月17日は福祉人材確保重点実施期間 ～

- 11月11日の「介護の日」前後に、全国で集中的に開催される福祉人材確保のための面接会、見学会、セミナーの実施に合わせ、県内のハローワークにおいても開催実施いたします。
- 【面接会開催場所】
県内12カ所にて実施。（日程等については、別紙予定表のとおりです。）
【施設見学会】
県内2カ所にて実施。（日程等については、別紙予定表のとおりです。）
※詳細については、各ハローワークにお問い合わせください。

2. 避難解除区域等の企業が参加する「就職面接会in広野・楢葉」を開催

担当：職業対策課 江花 電話：024-529-5438

東日本大震災等により避難されている求職者、避難解除区域（避難指示区域含む）が設定されている市町村に居住する求職者及び、将来的に避難解除区域が設定されている市町村への就労を希望する求職者等を対象として開催します。

- 日 時 平成28年11月30日（水）13:00～15:00
- 会 場 広野公民館 大会議室（双葉郡広野町中央台1-1）
- 参加事業所 19社程度

3. 11月に「過重労働解消キャンペーン」期間を実施

担当：監督課 高橋、塩原 電話：024-536-4602

以下の取組を実施します。

- 過重労働解消相談ダイヤル 平成28年11月6日(日)9:00～17:00
0120-794-713

- 重点監督の実施

1か月当たり80時間を超える時間外労働や若者の「使い捨て」が疑われる事業場などに対して、重点的に監督指導を実施するほか重大悪質事案については厳正に対処する

* 10月19日に、キャンペーンへの協力を局長名で関係団体に要請。

* 過重労働に限らず、労働条件に関する相談は、「労働条件相談ほっとライン」

0120-811-610 (月・火・木・金 17:00～22:00 土・日 10:00～17:00)

で受付中。

4. 「平成28年度福島県魅力ある職場づくり推進会議」を開催

担当：雇用環境・均等室 針生 電話：024-536-4609

福島県の復興・再生を進めるため、若者や女性など県内労働者の労働環境、処遇の改善に向けた気運が高まるよう、政労使及び地域の金融機関が連携して魅力ある職場づくりを推進するための取組などを検討します。

- 日 時 平成28年11月22日(火) 10:00～12:00
- 会 場 福島県庁本庁舎2階 特別第一委員会室
- 構成員 福島県、経営者団体、労働組合、東北経済産業局、金融機関、福島労働局
- 議 題 魅力ある職場づくりに向けた企業の取組（働き方改革、若者雇用・非正規労働対策、女性の活躍推進）の推進

5. 「魅力ある職場づくり推進セミナー」開催中

担当：雇用環境・均等室 津田 電話：024-536-4609

- 平成29年1月1日からの育児・介護休業法及び男女雇用機会均等法が改正・施行に伴い、「魅力ある職場づくり」を推進するためのセミナーを開催しています。

○日時・会場

郡山会場 11月 1日(火)13:30～16:30 ビッグパレットふくしま(定員150名)

福島会場 11月 4日(金)13:30～16:30 ホテル福島グリーンパレス(定員270名)

会津若松会場 11月18日(金)13:30～16:30 アピオスペース(定員200名)

○参加申込先 福島労働局雇用環境・均等室 電話024-536-4609

※各会場とも、定員になり次第、締め切ります。【参加費無料】

- また、12月末まで「**ハラスメント対応特別相談窓口**」を開設し、妊娠・出産・育児休業・介護休業等に関するハラスメントの相談を受け付けています。

II 法令の施行

1. 福島県特定（産業別）最低賃金の改定決定

担当：賃金室 白井 電話：024-536-4604

福島県最低賃金審議会・鈴木和郎会長より福島労働局長に対し、福島県特定（産業別）最低賃金を次のように改定する答申がありました。

・ 輸送用機械器具製造業最低賃金	818円(+15円)	効力発生日	平成28年12月10日
・ 自動車小売業最低賃金	815円(+15円)	〃	平成28年12月11日
・ 計量器等製造業最低賃金	816円(+15円)	〃	平成28年12月14日
・ 非鉄金属製造業最低賃金	831円(+15円)	〃	平成28年12月25日
・ 電子部品等製造業最低賃金	782円(+15円)	〃	平成28年12月18日



Ⅱ 公表事案

県内労働災害発生状況

担当：健康安全課 近藤（電話：024-536-4603）

平成28年9月末の災害発生状況をとりました。

業種	年別	平成28年		平成27年		対前年	
		死亡	死傷者	死亡	死傷者	増減数	増減率
全業種合計		15	1325	17	1249	76	6.1
製造業		2	301	1	281	20	7.1
鉱業		0	8	0	4	4	100.0
建設業		8	286	10	313	-27	-8.6
運輸交通業		0	155	1	135	20	14.8
貨物取扱業		0	9	0	13	-4	-30.8
農林業		1	52	1	33	19	57.6
畜産・水産業		0	7	0	12	-5	-41.7
上記以外の事業小計		4	507	4	458	49	10.7
商工業		2	165	3	155	10	6.5
金融広告業			13		4	9	225.0
保健衛生業			105		91	14	15.4
接客娯楽業			88		71	17	23.9
清掃・と畜業		1	57		65	-8	-12.3
上記以外の事業		1	79	1	72	7	9.7

(注) 1 労働者死傷病報告（休業4日以上）により作成したものです。

2 「-」は減少を示します。

【次回の福島労働局定例報告会の開催予定】

平成28年11月29日（火）10:00～

福島合同庁舎3階共用会議室（本日より同じ会場）



福島労働局

— 最近の雇用失業情勢《概要版》 —

1 県内概況

- 県内の有効求人倍率は、前月と同水準で1.35倍となった。
- 県内の雇用失業情勢は、改善の動きが緩やかになっている。

基調判断

- 改善の動きが緩やかになっている 《判断維持》

判断根拠

「改善の動きが緩やかになっている」

- 1.3倍以上を維持(32カ月連続)しているものの、全国水準を下回った。
- 有効求人数(原数値)が13カ月連続で前年同月を下回っている。
- 県内すべてのハローワークで有効求人倍率(原数値)が1倍以上。

2 今回の動き(平成28年9月分)

新規求人数

(※1ページ参照)

- 1万6,383人(前年同月比▲2.6%減少・原数値)
- 主要産業別の増減数(前年同月差)
「卸売業・小売業」(+223人) 「医療・福祉」(+191人) 「宿泊業・飲食サービス業」(+73人)
「サービス業」(▲509人) 「運輸業・郵便業」(▲118人) 「建設業」(▲70人) 「製造業」(▲19人)

新規求職者数

(※1ページ参照)

- 7,974人(前年同月比+6.3%増加・原数値)

全国順位

全国の有効求人倍率 1.38倍(9月)

(※2ページ参照)

- 「受理地別」の有効求人倍率:1.35倍(季調値) 全国 22位
前月20位(1.35倍)、前々月17位(1.40倍)
- 「就業地別」の有効求人倍率(参考指標):1.53倍(季調値) 全国 12位
前月9位(1.56倍)、前々月9位(1.59倍)

地域別

(※2ページ参照)

- 県北地域:1.25倍、 県中・県南地域:1.30倍、 会津地域:1.34倍
いわき地域:1.68倍、 相双地域:1.93倍

職種別

(※4ページ参照)

- 有効求人倍率が高い職種:「建設」2.62倍、「介護」2.73倍など
- 有効求人倍率が低い職種:「事務」0.40倍など

新規求職者の態様別

(※9ページ参照)

- 前年同月比で 「在職者」 求職者数は、 + 1.6%(+35人)増
- " " 「事業主都合」 離職者数は、 +23.3%(+166人)増
- " " 「自己都合」 離職者数は、 + 5.2%(+114人)増

正社員

(※11ページ参照)

- 有効求人倍率 0.93倍(前年同月比 ▲0.03P減)

3 今後の見通し

- 求人数は高水準ながら横ばい若しくは減少傾向で推移し、一方求職者数は引き続き低い水準で推移すると見込まれる。

また、復興需要のピークアウトなどが県内の雇用失業情勢に及ぼす影響について、注視していく必要がある。

全国概況（厚生労働省・9月）

- 「現在の雇用情勢は、着実に改善が進んでいる。」 《判断維持》

有効求人倍率

- 1.38倍（季調値・前月より0.01P上昇）

完全失業率

※総務省統計局「労働力調査」

- 3.0%（季調値・前月比0.1P低下）

完全失業者数

- 204万人（原数値・前月差8万人減少）

経済の動向

※内閣府「月例経済報告（10月）」（平成28年10月25日）

- 《景気判断》 「景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」
- 《雇用情勢判断》 「雇用情勢は、改善している。」

※日本銀行福島支店「福島県金融経済概況」（平成28年9月分・平成28年10月3日）

- 県内景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては緩やかに回復している。

※福島県「最近の県経済動向」（平成28年10月25日）

- 県内の景気は、一部に弱い動きがみられるものの、着実に持ち直している。〔前月据置〕